

平成22年度一般会計予算における重点事業

(新…新規事業)

1 かいてき：新時代を支える都市の形成

- ① 駅周辺の顔づくり事業…………… 1,711,785千円
- ② (仮称)八潮市まちづくり条例の策定…………… 4,096千円
- ③ 土地区画整理事業への負担金・繰入金…………… 1,057,101千円
- 新④ 中川周辺地区景観調査の実施…………… 600千円
- ⑤ 八潮街並みづくり100年運動促進事業…………… 3,000千円

3 ふれあい：明るく生きがいにみちた社会の形成

- 新① 子ども手当の支給…………… 1,602,136千円
- 新② 子育て拠点の整備…………… 16,193千円
- ③ 認可保育所委託事業の拡充…………… 139,478千円
- 新④ おおぜ学童保育所の増設…………… 51,325千円
- ⑤ 「(仮称)やまびこ」(障がい者通所施設)の整備…………… 140,638千円
- 新⑥ 10カ月児健康診査の実施…………… 5,059千円

5 はぐくみ：明日の八潮を担う人づくり環境の形成

- ① 小中一貫教育の推進…………… 28,092千円
- ② 小中学校校舎等の耐震補強・大規模改修工事…………… 935,452千円
- 新③ 小中学校パソコン教室用機器の更新…………… 7,388千円
- 新④ 駅前出張所での予約図書の出し出し…………… 2,380千円
- 新⑤ 貸し出し用AEDの導入…………… 76千円

2 やすらぎ：心やすらぐ安全な生活環境の形成

- ① 葛西用水の親水化整備(第2期工事)…………… 55,650千円
- 新② 民間住宅等耐震化の促進…………… 1,500千円
- ③ リサイクルプラザの環境整備…………… 46,693千円
- 新④ 省エネルギー等利用・導入の普及啓発…………… 5,000千円
- ⑤ 消防車両の更新…………… 70,900千円
- 新⑥ 地震ハザードマップの作成…………… 7,350千円
- 新⑦ 新型インフルエンザ等への対応…………… 1,181千円

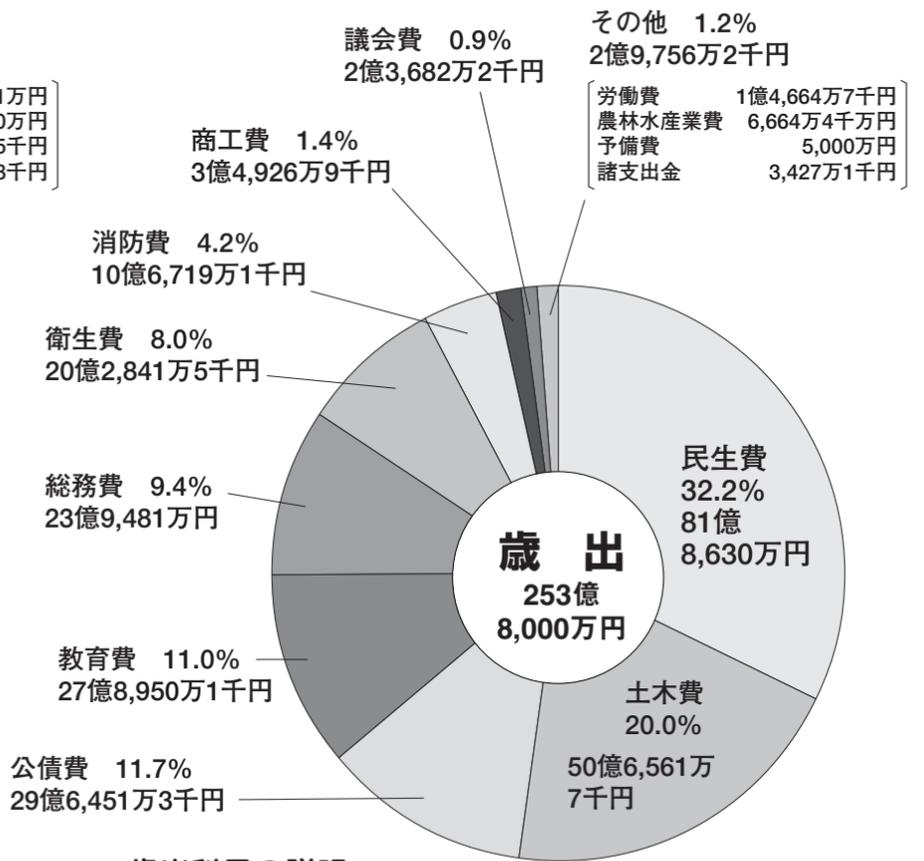
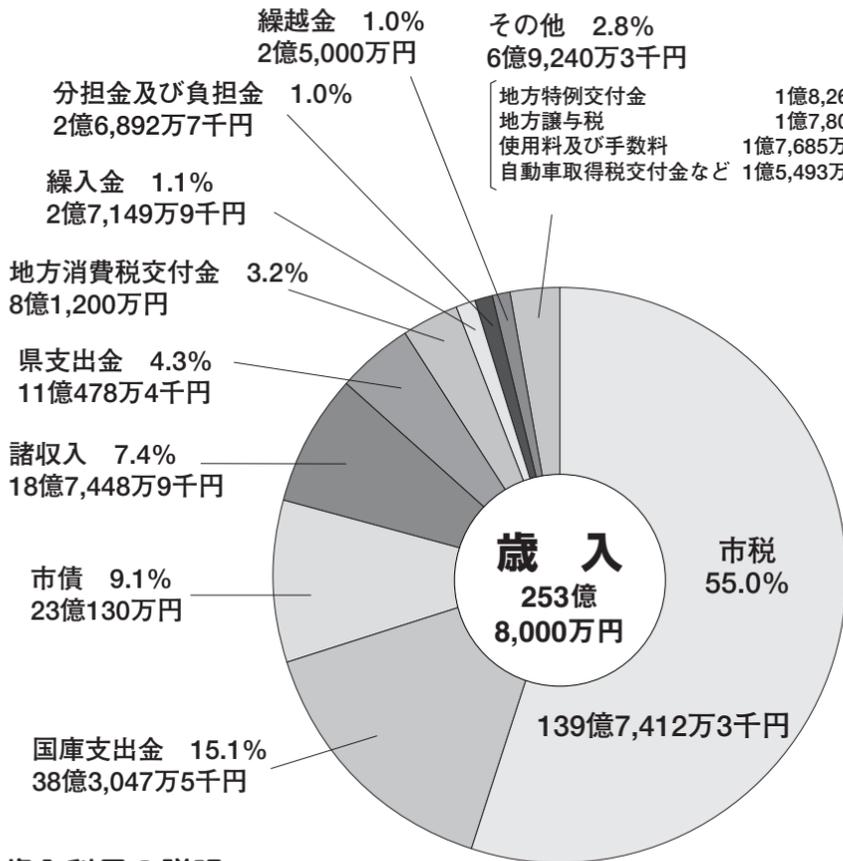
4 ちから：活気あふれる産業の形成

- 新① 埼玉東部工業展への補助…………… 1,000千円
- ② 中小企業資金融資事業の拡充…………… 213,647千円
- ③ 緊急雇用創出事業の実施…………… 50,249千円
- ④ 住宅手当緊急特別措置事業の実施…………… 42,895千円
- ⑤ 消費者行政活性化事業の実施…………… 3,834千円

6 すいしん：市民に開かれた計画的な行政推進体制の形成

- ① 自治基本条例の策定…………… 523千円
- ② 行政マネジメントシステムの導入…………… 7,056千円
- 新③ 画地認定図のデジタル化…………… 13,860千円
- 新④ 住民基本台帳カード発行手数料の無料化…………… 2,741千円
- 新⑤ 国勢調査の実施…………… 33,935千円

一般会計の歳入・歳出予算



歳入科目の説明

市税……………	市民税や固定資産税など
国庫支出金……………	市が行う特定の事務・事業に対して国から支払われるお金
市債……………	公共施設整備などのために、市が国や金融機関から借りたお金
諸収入……………	学校給食費や預貯金利息など
県支出金……………	市が行う特定の事務・事業に対して県から支払われるお金
地方消費税交付金……………	消費税のうち、八潮市分として交付されるお金
繰入金……………	歳入の不足額を補うため、基金(預金)から繰り入れるお金
分担金及び負担金……………	市が行う特定の事務・事業に対して利益を受ける人から支払われるお金
繰越金……………	前年度から次の年度に持ち越したお金
その他……………	国の政策に伴う補てんとして交付される地方特例交付金など

歳出科目の説明

民生費……………	高齢者・障がい者・児童の福祉などに使うお金
土木費……………	道路の建設・公園の整備などに使うお金
公債費……………	市が借りた、土木債・教育債などの返済に使うお金
教育費……………	学校の管理、図書館、資料館などに使うお金
総務費……………	住民票などの発行、庁舎の維持・管理などに使うお金
衛生費……………	ごみの処理、保健・環境衛生・スポーツ振興などに使うお金
消防費……………	消防力・救急力の強化に使うお金
商工費……………	商業・工業の発展などに使うお金
議会費……………	議会の運営などに使うお金
その他……………	労働施策、農業振興、土地開発公社への補助金などに使うお金

市のホームページにおいて、一般会計の予算書全ページ(PDFファイル)がご覧になれます。

八潮市では、収入の「約6割」が給料(市税)となっており、残りは、実家からの援助(国・県からの支出金など)や銀行からの借入(市債)などです。また、支出では、食費(人件費)が一番多く、次いで医療費(扶助費)、衣料代・光熱水費(物件費)、家の増改築費(普通建設事業費)の順となっています。

区分	金額	割合
○給料(市税)	170,000円	55.2%
○実家からの援助(国・県支出金、地方交付税など)	76,000円	24.7%
○銀行からの借入(市債)	28,000円	9.1%
○雑収入(諸収入など)	23,000円	7.5%
○家賃収入(分担金・負担金、使用料・手数料など)	5,000円	1.5%
○前月の余り(繰越金)	3,000円	1.0%
○預金取り崩し(繰入金)	3,000円	1.0%
合計	308,000円	100.0%

区分	金額	割合
○食費(人件費)	70,000円	22.7%
○医療費(扶助費)	54,000円	17.5%
○衣料代・光熱水費(物件費)	46,000円	14.9%
○家の増改築費(普通建設事業費)	46,000円	14.9%
○借金の返済(公債費)	36,000円	11.7%
○子どもへの仕送り(繰入金)	30,000円	9.8%
○自治会などの会費(補助費など)	24,000円	7.8%
○その他(維持補修費など)	2,000円	0.7%
合計	308,000円	100.0%

八潮市の平成22年度一般会計予算を「八潮家の家計簿(市民1人当たり)」に置き換えると、おおよそ左記のとおりとなります。※予算額を人口82,381人(平成22年3月1日現在)で割り、千円未満を四捨五入しています。

八潮家の家計簿